

大衆音楽に仏教のこころと教えをさぐる!!

歌に潜む 仏教のこころ

長田暁二著 (音楽文化研究家) ●A 5判・上製カバー ●定価：本体3400円＋税 (3570円)

日本は仏教国ですから、ふだん何気なく口ずさんでいる歌の中に、仏教精神に支えられた歌があるのは当然です。《歌は世につれ》と言います。ヒットした歌をじっと味わっていると、その時代の人々の「こころ」と「考え方」や思想が滲み出てきます。本書では、明治・大正・昭和・平成のヒット曲の中に仏教的な考え方、こころがどう映され、表現されているかを時代世相に探ります。

〈民謡・唱歌・童謡〉 津軽じよんから節 江差追分 螢の光 庭の千草(菊) 埴生の宿
故郷の空 荒城の月 戦友 旅愁 浜千鳥 七つの子 黄金虫 しゃぼん玉 夕焼小焼
待ちぼうけ 証城寺の狸囃子 雨降りお月 からたちの花 赤蜻蛉 赤いぼうし 白いぼうし
見てござる べこの子うしの子 良寛さん ぞうさん 月光仮面は誰でしょう
手のひらを太陽に 老人と子供のポルカ およげ!たいやきくん みんなのとて

〈歌謡曲・フォーク・ポップス〉 旅笠道中 流転 ハイワオンド 星の流れに 異国の丘
フランチェスカの鐘 長崎の鐘 ああモンテンルパの夜は更けて 別れの磯千鳥 岸壁の母
むすめ巡礼 お月さん今晚わ 銀座の蝶 心の窓にともし灯を アカシアの雨が止むとき
有難や節 惜別の唄 川は流れる スーダラ節 もずが枯れ木で 下町の太陽
忘れな草をあなたに ヨイトマケの唄 女ひとり 他人船 いっぽんどっこの唄 ネオン川
さとうきび畑 星影のワルツ 誰もいない海 知床旅情 ついて来るかい
くちなしの花 精霊流し すきま風 みちづれ 北国の春 夢追い酒
すべての人の心に花を 防人の詩 のぞみ 母の人生 時の流れに身をまかせ
雪椿 みだれ髪 川の流れのように 昭和舟歌
室生寺 涙そうそう 世界に一つだけの花
千の風になって 吾亦紅
三門博と「唄入観音経」

